

ご挨拶

松岡 啓介 「共同利用機関の歴史とアーカイブズ（略称）」代表
核融合科学専攻・核融合科学研究所

平成 18、19 年度の報告書は電子ファイルでよいのではということでしたが、やはり冊子にした方が見やすいとのことで、20 年度になって、2 年度分をまとめて合冊にすることになりました。20 年度の本プロジェクトの代表を引き受けることになりましたので、ご挨拶を述べさせていただきます。

本研究課題によるこれまでの活動のお蔭で、関係者の実力が着実に向上し、基盤機関におけるアーカイブズが徐々にではありますが着実に立ち上がっています。特に、平成 19 年度において、すばる望遠鏡に関して「科学と社会」の観点からのオーラルヒストリーが大々的に実施されました。これは、諸般の事情により 20 年度は実施されないことになりましたが、学問的には有意義な企画であったと理解しています。また、国文研のシステムに乗り入れる形で、いくつかの基盤機関において EAD に準拠した史料目録の横断検索が可能になり始めました。今後は、出来るだけ多くの基盤機関に働きかけ、横の繋がりを強めるよう努力すべきであると考えています。

アーカイブズにおいては、特に資料の収集やオーラルヒストリーの実施に際して、ニュートラルな立場を貫くことが求められますが、研究者としての立場に立つと、基盤機関の歴史を科学史や社会史の観点から考えてみたいという興味もありますので、史料の収集・整理をベースに学問的に高めていければと考えています。